

概要版

第3期富山県教育大綱

(第4期富山県教育振興基本計画)

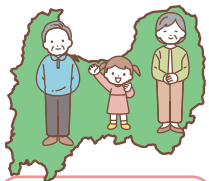


令和8年3月
富山県・富山県教育委員会

教育を取り巻く環境の変化

人口減少 少子高齢化

富山県の人口は2024年に100万人を下回り、2035年には89.8万人となる見込み

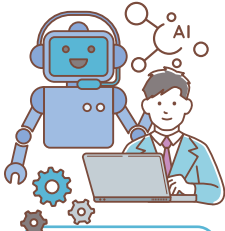


労働力不足

教育規模の縮小

科学技術の進展 イノベーションの深化

AIやロボット等の先端技術の社会への浸透



生活・経済の変化

教育DXへの期待

グローバル化 の進展

グローバル化が進展し、様々なものが国境を越えてボーダレスに往来



社会の変化が加速

外国人住民の増加

価値観の多様化

「ウェルビーイング」の考え方が国内外で注目



真の幸せ・心の豊かさ

自分らしく暮らせる社会

富山県の教育の現状と課題

自分で課題を発見し解決する力と 将来を展望する力の育成

- ・小中学生の学力は全国平均を上回る高い水準
- ・課題解決に自分で考え取り組んだと答える割合は全国平均を下回る
- ・将来の夢や目標を持つ割合は中学3年生で低下傾向

解決力 全国平均 ↓
将来の夢、目標がない

自分の生き方を
選ぶ力を育てる



▶ 高い学力を「自ら課題を発見し解決する力」へどう転換するか

多様性と 包摂性への対応

- ・特別支援学級の在籍者や通級指導を受ける児童生徒が増加
- ・不登校やいじめが増加傾向
- ・日本語指導が必要な外国人児童生徒も年々増加



不登校・いじめで悩む子どもも増加

▶ 特別な支援が必要な子、不登校、外国籍の子どもたちにどう寄り添うか

少子高齢化、 人口減少社会への対応

- ・進学・就職で県外へ出た若者がそのまま定着する傾向

▶ 地域に定着し、支える人をどう育むか

- ・生涯学習をしたことがある人は3割程度
- ・週1回以上スポーツをする成人の割合は全国平均を下回る

▶ 生涯にわたる学びやスポーツに親しむ環境をどう整えるか



持続可能な 教育環境の整備

- ・教員の志願者は減少傾向、志願倍率も低迷
- ・一部教師の時間外・在校等時間が依然として長い
- ・学校施設の老朽化対策が課題

▶ 教員不足や働き方改革、学校施設の老朽化にどう対応するか



教師不足 働く環境

老朽化 対策

富山県教育大綱の体系

基本理念

生涯にわたる学びを通して、
県民一人ひとりのウェルビーイングを高める

教育方針

教育方針
1

一人ひとりの可能性を引き出す質の高い教育の実現

教育方針
2

多様なニーズに対応したきめ細かな教育と支援の展開

教育方針
3

子どもたちの学びを支える教育環境を構築

教育方針
4

社会の持続的発展に向けて学ぶことのできる機会の提供

主な施策の方向性



1

子どもの才能や個性を伸ばす教育の推進

2

様々な体験を通じた社会で生きる力の育成

3

私立学校や高等教育機関の振興

4

誰一人取り残されない多様性と包摂性のある教育の推進

5

学校・家庭・地域で取り組む子どもの健やかな成長の支援

6

学校の特色と魅力を高め、安全で快適に学べる学校づくり

7

教師が意欲と能力を高め、子どもと向き合える環境づくり

8

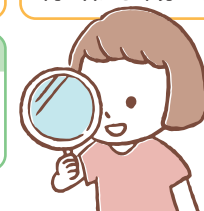
スポーツや文化芸術に親しむ機会の充実

9

生涯にわたる多様な学びの推進

10

地域に学び地域の創生につながる活動の推進



未来に向けて、子どもたちが自ら考え責任をもって行動すること

【富山・金沢子どもサミット宣言】

- 1 夢や目標を持ち、自分のよさや可能性を生かします
- 2 多様性を受け入れ、他者を理解・尊重します
- 3 住みやすく、誰もが誇れるまちをつくります
- 4 持続可能で幸福な社会を実現します
- 5 100年後の明るい未来のためにパトンをつないでいきます



生涯にわたる学びを通して、 県民一人ひとりのウェルビーイングを高める



社会が大きく変化し、価値観が多様化する中で、一人ひとりの幸せ、生活や人生の「質」をより重視し、県民のウェルビーイングを高めていくことが重要です。

人口減少下においても富山県が持続的に発展し、県の総合計画が目標として掲げる「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域・富山～」が実現するよう、一人ひとりが、それぞれのライフステージにおいて必要と感じる学びの機会を提供します。

学校教育においては、「楽しい学校」「行きたくなる学校」づくりを進め、子どもたち一人ひとりのウェルビーイングの向上を目指します。

教育方針 1

一人ひとりの可能性を引き出す 質の高い教育の実現

こんな姿を目指します

- ▶ 子どもは、基礎学力を定着させて自ら考え取り組む力を備え、希望や適性に応じて主体的に進路を選択し、生涯にわたって自らのキャリアを発展させていく力を身につけています。
- ▶ また、県民は、大学等での質の高い専門教育を通じて高度な知識と実践力を身につけています。

主な 取り組み

- 学校段階の連続性を意識した主体的・対話的な学びと少人数教育
- 実社会と連携した探究学習および課題解決型学習(PBL)
- 個々の才能を早期に発見・伸長させる体系的な取組み
- 教師の英語力向上と国際交流・グローバル教育環境
- キャリア教育・ライフプラン教育
- 地域の魅力・課題に触れ、意見を表明・交換できる機会
- 私立学校の特色ある教育
- 県立大学の安定運営とニーズに応じた機能強化
- 産学官連携による高度専門人材の育成

教育方針 2

多様なニーズに対応した きめ細かな教育と支援の展開

こんな姿を目指します

- ▶ 子どもは、障害等の特性や不登校などの困難に関わらず、一人ひとりの状況に応じた支援を得たり、多様な場で学びを継続したりし、自立と社会参加に向けた力を育んでいます。
- ▶ また、読書や運動、正しい食習慣を通じて心身の健康と豊かな感性を養いながら、安全安心な環境で、学校を楽しみ場所と感じて過ごしています。

主な 取り組み

- 特別支援教育の専門性向上とインクルーシブ教育システム
- 外国人児童生徒への日本語指導や生活適応指導
- 学び直しを希望する方のための夜間中学
- いじめやネットトラブルの未然防止・早期発見・早期対応
- 互いを尊重し合う人間関係を築くための人権・道徳教育
- 運動やスポーツを通じた健やかな体と多様性を認める心の育成
- 生涯の健康を維持するための食育および健康安全教育
- 学校図書館の機能充実と誰もが本に親しめる読書環境
- 家庭教育への情報提供と子育ての悩みを共有し合える機会
- 専門人材の活用による心や福祉的課題へのきめ細かな相談支援
- 経済的理由による学業断念を防ぐための多様な支援制度

教育方針 3

子どもたちの学びを支える 教育環境を構築

こんな姿を目指します

- ▶ 子どもは、一人一台端末を活用した個別最適な学びや、各校の特色を活かした教育活動を通じて、自らの興味や夢に応じた進路を選択し、充実した学校生活を送っています。
- ▶ また、教師はICTを活用した質の高い授業を実践するとともに、適切な勤務環境のもとで心身の健康と研鑽の時間を確保し、専門性を高めて子ども一人ひとりと向き合っています。

主な 取り組み

- 「新時代とやまハイスクール構想」による魅力ある高校
- 1人1台端末の円滑な利用に向けたICT環境
- 生成AI活用や校務デジタル化による教師の指導力向上
- 県立学校の計画的な改修と避難所としての防災機能
- 外部人材活用や教育DXによる教師の業務効率化
- きめ細かな指導を実現するための教職員定数の確保と適正配置
- 教師のキャリア段階に応じた体系的研修とノウハウの伝承
- 大学派遣や連携協力を通じた実践的指導力を持つ教師の養成
- 中学生から社会人までを対象とした教職の魅力発信と採用前研修
- 優秀で熱意ある多様な人材を確保するための採用選考

教育方針 4

社会の持続的発展に向けて 学ぶことのできる機会の提供

こんな姿を目指します

- ▶ 地域社会では、高い専門性を持つ指導者のもとで生徒がスポーツや文化活動に取り組める環境が整っており、子どもたちの可能性を伸ばしています。
- ▶ 県民は、年齢や障害の有無に関わらず身近な場でスポーツや文化芸術に親しんだり、自らのニーズに応じた学習を主体的に行ったりし、その成果を生活に活かしています。
- ▶ また、子どもは地域とのつながりや郷土への誇りを深め、将来の富山県を支える意欲を育んでいます。

主な 取り組み

- 中学校部活動の地域展開支援とスポーツ・文化芸術に親しむ機会
- 誰もがスポーツを楽しめる環境整備と多様なイベント・活動
- 持続可能なスポーツ活動を支える指導者の確保と関係団体への支援
- 子どもが美術館・ホール等で質の高い文化芸術に触れる機会
- 郷土の文化財や伝統文化の保存・継承とデジタル化
- リカレント教育やリスクリングなどライフステージに応じた学習機会
- 主体的な学びを支える生涯学習・社会教育環境
- 地域の人材・資源を活かした教育活動
- 富山の自然を活かした体験活動の提供と科学的な探究心の育成
- 歴史や先人の営みへの学びを通じたふるさとへの愛着と誇りの醸成
- ふるさと文学に親しむ機会の提供

未来に向けて、子どもたちが自ら考え、責任をもって行動すること

富山・金沢こどもサミット宣言

1. 夢や目標を持ち、自分のよさや可能性を生かします



2. 多様性を受け入れ、他者を理解・尊重します



3. 住みやすく、誰もが誇れるまちをつくります



4. 持続可能で幸福な社会を実現します



5. 100年後の明るい未来のためにバトンをつないでいきます



この「富山・金沢こどもサミット」が開催され、高校生、中学生が話し合い、宣言として発信しました。



子どもたちの主体的な行動を支える社会の役割

子どもたちが自ら考え行動するために、私たち大人、社会が、安心して挑戦や失敗できる環境を保障する伴走者となります

